

OSBEELS (オレゴン州試験ボード) のExaminations & Qualifications Committee (試験資格審査委員会) の議事録と、(Washington) Board of Registration for Professional Engineers and Land Surveyors (ワシントン州登録ボード) の議事録の内容をお知らせします。今回は、オレゴン州は2016年4月8日分の内容をチェック。ワシントン州は2016年2月4日、3月10日、及び4月19日の議事録から、受験者・登録者に関連する記事をピックアップしてお届けします。

## オレゴン州

### ・ 非公式討議

- **猶予されたCPDを期限内に提示出来なかったPEとの電話討議。Oregon州では将来も活動しないとのこと。委員会では民事制裁金の代わりに、恒久的に登録を解除し将来復帰も出来ないこととした。**
- あるPEが設定された非公式討議に出席しなかった。委員会としては、これが合意に達する最後の試みであった。➡ 本件はOAH (Office of Administrative Hearings, 行政審判局)に照会。

### ・ 猶予期間中に対応されなかった案件リスト

掲載者を確認。以下の者はリストから外れた。

- ① 住所の記載が不十分でNOI (Notice of Intent, 催促状) が届かず再送となったPE
- ② 猶予期間中にCPDを獲得したが、その証拠書類の委員会への到着が期限に間に合わなかった(がその後到着した) PE
- ③ NOIを送付後、死亡が確認されたPE
- ④ (NOIの送付後) CPD時間記録を提出したPE

委員会は、NCEES (National Council of Examiners for Engineering and Surveying, PE試験の製作・運営及び受験資格の審査を行う機関) と討議した。ABET (米国工学系大学のプログラム審査を行う機関) 評価基準の3項及び5項の変更提案が議題だったが、特にアクションはなし。

### ・ 新規案件

- Senate Bill (SB) 297-A の昨年6/25の可決により、現行のボードとNCEESとの契約内容は、PE受験者は、どの管轄区からでも、活動州をOregonと指定することが出来るようになっている。これにより、(Oregon) ボードの事前の認識、承認なくOregon州の試験を受ける人が出てくる可能性がある。(ボードから受験者に事前連絡出来ないため?) ボードのエラーによりNCEESの受験登録期限に間に合わない受験者が発生した場合、NCEESは3週間の猶予期間を設けており、その間にボードが救済措置を取るよう求めている。ボードの事前承認が無い場合でも、NCEESは猶予期間を適用するために、ボードの承認を必要としている。委員会では、このような救済措置のためにリソースを割くのは合法的ではない

のでは、等の議論があり、結果としてNCEES の登録期限を逃した受験者の救済のためにNCEES の受験登録に関わることはしない（つまり救済措置は取らない？）ということで合意した。

（筆者注：議論の背景に不明な点があり、議事だけでは正確な理解が出来ませんので、上記はあくまで参考と捉えてください。但し以下のようなことが背景にあると思われます。

- ① 昨年まで・・・受験する際には必ずどこかの州ボードの審査を必要としていたので、州の審査を経ずに PE 受験するというケースは無かった【日本、韓国などは除き】
- ② 昨年から・・・PE 受験と、「4 年の職務経験申告」などを分離手続きすることをNCEES および各州が認めた。これをdecoupling と呼んでいる。試験のCBT【Computer-based Test】化に伴い不可欠となった手続き】

上記②により、NCEES はどの州に登録するかは問わずにどんどん受験者を受け入れるようになり合格者はその後州ボードにコンタクトするようになる。Oregon 州としては過去10 年ほど、日本、韓国などからの合格者受付でまさに苦勞してきたことが全米に拡大されることを意味しており、敏感になっているものと想像される。）

- Oregon 州登録のCivil PE が、地質工学分野に登録を拡大したいと希望。（Oregon 州では試験科目としてこれが存在しないため）ボードでは、この分野に登録する場合はCalifornia 州試験で能力判定できるとしているが、受験するには当該州の要件を満たす必要がある。➡ 自身で能力を証明出来れば地質工学分野に登録拡大出来る可能性があるが、そうでなければCalifornia 州での要件を満たした上で試験を受ける必要がある。

#### 登録申請レビュー

- Civil PE としての登録申請で、申請者が自身を、リファレンスの冒頭ページで「Engineer II at Waste Management」と称していた。➡ 申請者と勤務会社に懸念を表すレターを発行する。（同様の件が他に4 件記録されている）
- NCEES の履修科目評価で単位が不足しているが、「Education/Experience Matrix」を適用し、登録承認したケース
  - \_ Civil PE、高等数学及び基礎科学で15 単位不足
  - \_ Civil PE、数学及び基礎科学で28 単位不足
  - \_ Mechanical PE、一般教養科目で10 単位不足
  - \_ Mechanical PE、工業科学とデザインで4 単位不足
  - \_ Fire Protection PE、数学と基礎科学で6 単位不足
  - \_ Civil PE、工業科学とデザインで9 単位不足
- Civil PE、指導的役割のリファレンスの要件を免除するよう要望。リファレンスの記載では、6 年2 か月の経験を有するが、PE の直接的な指導下での経験は1 年2 か月に留まる。➡登録を承認。

#### 合意事項

以下の申請に関しては、Oregon 州での登録分野の要件を満たさないと判定する。

- NCEES Structural I とII の試験に合格、Civil PE として登録申請。（もう1 件同様の申請あり）

- NCEES Structural I の試験に合格、Civil PE として登録申請。
- Pennsylvania 州設定の試験2 つに合格、Civil PE として登録申請。
- Oregon 州で認定されていない分野で、NCEES の8 時間の試験に合格、Civil PE として登録申請。

## ワシントン州

(2 月4 日)

- あるPLS (Professional Land Surveyor) が、監査 (audit) でPDH の証拠を提出出来なかった。これにより2 年間の資格停止処分となった。最初の9 か月は無条件で適用、その後の15 か月は500 ドルの罰金を支払い、2012 年7 月～2014 年7 月の期間のPDH の証拠を提出することにより解除される。
- あるPLS が無免許で活動していた、という件があったが、証拠不十分ということで調査終了とした。

(3 月10 日)

- ・ 特筆すべき事項なし

(4 月19 日)

- あるPE が失効したライセンスを使って業務を行ったため、以下の制裁措置を決定した。
  - ・ 30 日以内に、彼自身で、クライアントにその旨を通知する。
  - ・ 30 日以内に、彼自身の金銭負担により、クライアントにエンジニアリングプランを再提示する。
  - ・ 60 日以内に、ボードに2000 ドルを支払う。

(同様の件がもう1 件あり、彼には上記3 項目がそれぞれ、30 日以内、90 日以内、5 か月の分納で2500 ドル、と設定された)